

第七十六回
帝國議會
貴族院

無盡業法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

無盡業法中改正法律案(政)

委員氏名

委員長	侯爵池田 宣政君
副委員長	子爵牧野 康熙君
	男爵東久世秀雄君
	入江 貫一君
	三井清一郎君
	男爵關 義壽君
	橋本圭三郎君
	佐々木八十八君
	古莊健次郎君

昭和十六年二月十三日(木曜日)午後四時
九分開會

○委員長(侯爵池田宣政君) 只今カラ開會致シマス、先づ最初ニ當局ヨリ御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 本委員會ニ付託ニ相成リマシタ無盡業法中改正法律案ニ付キマシテ、御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、無盡業法改正ノ趣旨ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ御説明申上ゲマシタ通り、時局下ニ於ケル庶民金融ノ現狀ニ顧ミマシテ、無盡業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲ニ、必要ナ改正ヲ行ハムトスルモノニ外ナラナイノデアリマスルガ、其ノ改正ノ主ナル點ニ付テ申上ゲマスルト、先づ最近ノ貯蓄獎勵運動ニ伴ヒマシテ、無盡會社ノ餘裕金モ相當増加シテ參ッテ居リマスルガ、之ガ運用方法ヲ堅實ナラシメル爲ニ、無盡會社ノ營業

上ノ資金運用ノ範圍ヲ擴張致シタノデアリマス、次ニ無盡會社ガ營業讓渡ノ方法ニ依リマシテ合同致シマスル場合ノ簡易手續ヲ會社合併ノ場合ニ倣ッテ新タニ設ケルコトト致シマシタ、ソレカラ又庶民金庫ト無盡會社トノ業務上ノ連繫ヲ圖ラシマス爲ニ、無盡會社ガ庶民金庫ニ預金ノ預入ヲ爲シ、又ハ庶民金庫ヨリ貸付ヲ受クルコトヲ認メルコトトシ、無盡會社ト庶民金庫ヲシテ相互ニ協力シテ庶民金融ノ疏通ニ努メシムルコトト致シマシタ、以上ノ外無盡會社ノ營業區域ノ合理化、所謂物品無盡業者ニ對スル取締、無盡會社ノ業務及財産ノ管理ニ關スル規定ヲ新タニ設ケルコトト致シマシタ、是等ハ何レモ此ノ際無盡業ノ基礎ノ強化、健全ナル發達ヲ圖ル爲ニ必要ト認メ提案致シタ次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上御賛成アラムコトヲ希望致シマス

○委員長(侯爵池田宣政君) 御質問ガゴザイマスレバ此ノ際御願ヒ致シマス
○古莊健次郎君 無盡業ト致シマシテハ、以前ハ中小商工業者ニ對シテノ資金ヲ供給スルノガ大體目的デアッタヤウデアリマスガ、最近ハ大分貯蓄獎勵ノ意味モアリマシテ、貯金本位デヤルモノモ大分出來タヤウデアリマスガ、三年ナリ五年ナリ月賦デ貯金ヲ致シマシテ、サウシテソレガ満期ニナリマシタ場合現金デ皆拂出スコトニナッテ居リマス、折角ノ貯金本位デ掛ッタモノヲ一過ニ現金デ出スト云フコトハ、却テ貯蓄獎勵ニモ反スルモノカトモ思ヒマスガ、從ッテ其ノ

満期ニナッタモノヲ、無盡會社デ何トカソレヲ預ッテ行クヤウナ方法ヲ講ジテ戴イタラ、非常ニ結構ダト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(相田若夫君) 只今ノ御質問御尤モノヤウニ存ジマスガ、併シ無盡業ガ只今御話ノヤウニ發達致シマシタ今日ニ於キマシテモ、尙無盡ト云フモノノ本來ノ性質デアリマスル所ノ一般ノ加入者カラ收集致シマシタ掛金ヲ、或特定ノ加入者ニ融通スルコトニ變リガナイト存ゼラレルノデアリマシテ、之ガ無盡金融ト云フモノノ矢張り特徵デアルト考ヘナケレバナラスト存ゼラレルノデゴザイマス、ソコデ今ノ是等ノ無盡會社ニ對シマシテ積極的ニ、只今御話ノヤウニ加入者ノ特定ノ種類ノ預金ニ限ルコトト致シマシテモ、尙預金ノ受入ヲ許可スルト云フコトニ致シマススト云フト、銀行トカ信用組合トカ其ノ他ノ金融機關ノ業務ヲ兼營スルヤウナコトニ形ガナリマシテ、金融機關ノ各ノ特質ト云フモノノガ失ハレテ來ル虞モアルヤウニ思ハレマスノデ、御意見デハゴザイマスルガ、是ハ尙十分慎重考究ヲ要スル問題デアルト考ヘテ居リマス

○入江貫一君 甚タ幼稚ナ質問デアリマスガ、此ノ有價證券以外ノ物品ヲ目的トスル無盡業者デ、會社組織デナイ業者ガ從來アルノデアラウト思フノデアリマスガ、是ハ將來ハ此ノ改正ニ依リマシテ株式組織ニナラナケレバナラナイ譯デアリマスガ

○政府委員(相田若夫君) 所謂物品無盡ノ營業ヲヤッテ居リマスモノハ澤山ゴザイマス、大體ニ於キマシテ資力信用ノ薄弱ナルモノガ多イノデアリマスカラ、之ヲ取締ル爲ニ此ノ改正ヲ企圖致シタ次第デアリマシテ、從ッテ今後堅實ナルモノニ限ッテ物品無盡ノ營業ヲ許スト致シマシテモ、矢張り會社ノ收支計算ヲハッキリサセ、十分ナル監督ヲ加ヘテ健全ナル發達ヲ促シテ行キマス爲ニハ、矢張り會社ニ限ルコトガ適當デアルト存ゼラレマスルガ、其ノ點ハ此ノ無盡業法ニ依ッテ取締ヲ受ケルコトニナリマスレバ、業法ノ規定ニ依リマシテ當然株式會社ニ限ルト云フコトニナル譯デアリマシテ、サウ致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○入江貫一君 サウ致シマススト此ノ附則ノ方デ、在來ノ物品無盡ヲ業トスル者ハ、其ノ完了ニ至ル迄契約ニ關スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ得ルト云フコトデ救済シテアルヤウデアリマスガ、會社組織ニ改メルトコトガ出來ナイ無盡業者ハ、今ノ資力ノ少イ小サナ澤山アル無盡業者ハ、此ノ法律ガ施行セラレマススト、過去ニ於テ契約シタ業務ノミ繼續シテ、本法施行後ハ新タニ契約ヲスルコトハ出來ナイコトニナルヤウニ考ヘラレマスガ、如何デゴザイマセウカ、ソレガ一つ、若シサウデアアルナラバ、ソレ等ノ業者ハ殆ド成立タナイデヤナイカト想像セラレルノデアリマスガ、如何ナモノデアリマセウカ、營業ガ成立タズニ非常ニ困ルト云フヤウナ者ガ多數ニ發生シハシナイカト想像スルノデアリマスガ、如何デゴザ

イマセウカ

○政府委員(相田岩夫君) 第一點ニ付キマシテハ、御質問ノ通り此ノ改正規定施行前ニ致シマシタ無盡業約ニ付テハ、之ガ完了ニ至ル迄其ノ契約ニ關スル業務ニ限ッテ之ヲ繼續スルコトヲ得ト云フコトニ、附則ノ第二項ニ於テ規定致シテ居リマス、從ッテ施行後新タニ契約スルコトハ出來ナイ譯デゴザイマス、ソコデ第二點ノ御質問デアリマスガ、附則ノ第一項ニ於キマシテ「本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條、第五條及第十條第一項第六號ノ改正規定施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス、此ノ第一條乃至第十條第一項第六號ノ改正規定ト申シマスノハ、總テ所謂物品無盡業關スル規定デゴザイマシテ、此ノ改正規定ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ定ムルコトト致シマシテ、相當猶豫期間ヲ置ク積リデゴザイマス、其ノ期間内ニ業者ノ本法ニ依ッテ新タニ免許ヲ受ケテヤレナイ者ニ付キマシテハ、其ノ整理ノ期間ヲ與ヘヨウ、斯ウ云フ趣旨ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○入江貫一君 趣旨ハ能ク分リマシタガ、先程戴キマシタ此ノ資料ニ依リマシテモ、土地、建物、電話ナドト云フ大キナモノハ別ト致シマシテ、外ノ物ヲ目的トスル無盡業ノ業者ノ數、資本金等ガ少シ分ラナイヤウニ書イテアリマスガ、非常ニ澤山アルノデハナイカト想像スルノデアリマス、サウシテ是等ノモノガ猶豫期間ヲドノ位御質問ニナリマスカ知リマセヌガ、三年トカ五年トカノ猶豫期間中ニ整理セラレテ株式會社ニシナイカト想像致スノデアリマスガ、ソレ等ハドウナルノデアリマセウカ

○政府委員(相田岩夫君) 所謂物品無盡業ト致ス者ノ總數ハ、餘リ正確ナコトハ分ラスノデゴザイマスガ、大體業者ノ數ハ二百、契約高ニ致シマシテ一億二三千萬圓ト推定致シテ居リマス、併シ此ノ二百カラノ業者ノ中デ、比較的堅實ナル經營ヲ致シテ居ルト認メラレマスノハ、僅カニ十社内外デゴザイマシテ、契約高ノ殆ド大部分モ此ノ數社ノ占ムル所ニナッテ居ルノデゴザイマス、其ノ他ノモノハ概シテ申シマスト云フト、先程モ申上ゲマシタヤウニ、資力モ信用モ極メテ薄弱ナルモノガ多イノデゴザイマス、物品無盡業ト稱シナガラ、物品ノ入手難ニ伴ヒマシテ金錢ノ給付ヲ實際上行ッテ、無盡業法ノ違反ヲヤッテ居ル、或ハ給付不能ニ依リマシテ多數ノ加入者ニ損害ヲ與ヘルモノガ多イト云フヤウナ狀態デゴザイマシテ、斯ウ云フ業者ニ付キマシテハ堅實ナ眞面目ナモノヲ助成致シマシテ、營業ヲ繼續セメシルト共ニ、サウ云フ多數ノ、ドチラカト云ヘバ多クノ加入者ニ或ハ迷惑ヲ掛ケル虞ノアルヤウナモノハ、之ヲ取締ッテ行キタイ、段々ニ廢メサシテ行キタイト云フ考ヲ以チマシテヤッテ居リマスルノデ、唯其ノ施行ノ期間ヲ少シク延シマシテ、他ニ變ラセルト云フ方法ヲ採ッテ行ク外ナイノデハナイカト存ゼラル、ノデアリマス

○入江貫一君 速記ヲ止メサシテ戴キタイ
○委員長(侯爵池田宣政君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(侯爵池田宣政君) 速記ヲ始メテ……
○入江貫一君 營業トシテ無盡ヲ行フノ

ト、營業デナクテ今ノ御話ノ頼母子講ノヤウナモノトシテ行フノト區別ガアルガ、此ノ物品無盡ハ代々頼母子講トシテ行ッタモノノ中デ、基礎ノ固イモノハ本法ニ依ッテ取締ラレルト云フコトハ、營業者トシテ將來ハ育テ行カウト云フ御趣旨ハ能ク分リマシタガ、在來物品無盡ヲ經營シテ、而モ此ノ無盡業法ニ依ッテ取締ラレナカッタノデアリマスガ、ソレ等ガ庶民金融ノ上ニ、勿論弊害モアリマシタラウガ、又非常ニ便利ナコトモアッタノデアリマス、ソレヲ株式會社ニシナケレバイカスト云フコトニナリマス、基礎ノ固イモノハ改良サレテ株式會社ニナリマセウガ、サウデナイ多數ノモノガ、ソコ迄發達シ得ズシテ無盡業ヲ營ムコトガ出來ナクナル、爲ニ庶民金融ノ上ニ非常ニ不便ニナルト云フヤウナ虞ハ多分ニアル譯デハナイノデアリマセウカ

○政府委員(相田岩夫君) 此ノ無盡業法デ締ラウトスルモノハ、營業トシテヤルモノニ限ル譯デアリマシテ、所謂頼母子講ニ屬スルモノハ營業デハゴザイマセヌノデ、是ハ入ラナイノデゴザイマス、又現在營業トシテ物品無盡ヲヤッテ居リマス量ノ九割九分迄ハ、會社組織デヤッテ居ルサウデゴザイマス、此ノ點御答ヘ申上ゲマス

○入江貫一君 大體了解致シマシタガ、モウツ別ナコトヲ伺ヒタイノデアリマス、無盡會社ガ他ノ無盡會社ニ營業、財産ノ管理ヲ委託スルコトガ出來ルト云フコトト、モウツハ「無盡管理會社」ヲ「無盡會社」ニ非ズシテ「無盡ノ管理ヲ業トスル會社」トスルト云フ、此ノ無盡管理會社ト云フノハ、自身ハ無盡ヲ行ハナイ會社デアリマスカ
○政府委員(坂口芳久君) 此ノ「無盡管理

會社」ト現在ノ法律ニアリマスモノハ、頼母子講トカサウ云フモノヲ管理スル會社デアリマシテ、自分自身デ此ノ無盡ノ營業ノ主體ニナルノデハナクテ、頼母子講トカ、サウ云フモノヲ管理シテ行ク會社ヲ無盡管理會社ト、斯ウ謂ッテ居ルノデゴザイマス、今度此ノ無盡管理會社ノ所ニ註ヲ加ヘマシタノハ、新シク無盡會社ガ他ノ無盡會社ノ管理ヲスルコトヲ認メマシタノデ、ソレト混シタ無盡管理會社ニ註釋ヲ加ヘタ次第デゴザイマス

○入江貫一君 了解致シマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス
○古莊健次郎君 會社數ハ、此ノ表ニ依リマスト前年カラスルト十六モ減ッテ居ルヤウデアリマスガ、今後モズツト御減シナ

ル御方針デアリマスカ、ドウデアリマスカ
○政府委員(相田岩夫君) 無盡會社ノ合同ニ付テノ方針ノ御尋ト存ジマス、無盡會社ノ數ハ尙今日ニ於テモ可ナリ多イノデゴザイマシテ、殊ニ其ノ資本金ニ於テ契約高ニ比較シテ餘リニ貧弱ナ、法律上ノ資格ヲ缺イテ居リ、法律上ノ制限ニ達シテ居ナイモノ等モゴザイマスルシ、又内容ヲ整理サセナケレバナラヌ無盡會社モアリマスルノデ、斯ウ云フモノヲ整理致シマスル爲ニハ、合同ニ依ルコトガ最モ便宜デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙同一ノ地方ニ多數ノ無盡會社ガ竝立致シマシテ、無用ノ競争ヲ致シテ居ル所モゴザイマス、無盡業ノ健全ヲ發達ヲ期シマス爲ニハ、ドウシテモ無用ノ競争ヲ無クシ、且營業ノ基礎トシテ十分ナ地盤ヲ與ヘルト云フコトガ必要デアルト考ヘルノデゴザイマス、ソコデ勿論其ノ地

方ノ狀況ヲ十分勘案致スノデゴザイマスガ、今後トモ無盡會社ニ付キマシテハ合同ノ促進ヲ圖ツテ行キタイト、當務者ト致シマシテハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○古莊健次郎君 合同モ其ノ方法ガ宜シケレバ非常ニ結構デアリマスケレドモ、其ノ土地ノ實情ニ即セヌ合同デモヤルト云フコトニナリマス、却テ獨占ノ弊ナドガ出テ、實際ノ無盡ノ何ト言ヒマスカ、本當ノ機能ヲ發揮スルコトガ出來ヌヤウナ弊害ガ出ルヤウナコトハアリマセヌデセウカ

○政府委員(廣瀬豐作君) 只今ノ御質問ハ誠ニ御尤モナ御質問デゴザイマシテ、元來御承知ノヤウニ、無盡業ト云フモノハ我が國ノ獨得ノ金融組織デアリマス、而モ其ノ發祥ノ由來ヲ考ヘテ見マスルト、今日デ申シマスト一種ノ部落的ト申シマスカ、隣保的ト申シマスカ、サウ云ツタヤウナ所ノ間デ金ノ融通ヲ行フト云フコトガ元デアッタノデアリマス、之ガ企業組織ニナリマシタノハ、大體明治ノ三十年前後デアッタと思フノデアリマス、サウ云ツタヤウナコトデアリマシテ、無盡業其ノモノガ近代の企業組織ノ形態ヲ備ヘテ來タト云フコトガ、寧ロ新シイ狀態デアリマスノデ、土地ニ依リマシテハ、無盡業ハ寧ロ狭イ所ニ固キヤルト云フコトガ、最モ理想的ナ行キ方デアラウカト思フノデアリマス、處ガ最近ノ無盡業ノ發達ノ狀況ヲ見マスルト、ドウモ都會地ニ集中致シマシテ、何故カト申シマス、都會地ニ於キマシテハ人口ガ多クテ營業費ガ比較的少イ、サウシテ簡單ニ集金ガ出來、又物ノ給付モ出來ルト云ツタヤウナ關係カラ致シマシテ、都會地濫立ト申シマスカ、ト云ツタヤウナ風ガ起リ易イノデアリマス、ソコ

デサウ云ツタヤウナ方面ニ於キマシテハ、是ハ從ニ無用ノ競争ヲ起スモノデアリマスルカラシテ、是ハ寧ロ少ク致シマシテ、其ノ土地ニ適シタヤウニ、是モ必ズシモ一地域一會社ト云ツタヤウナ考デアリマセヌケレドモ、其ノ土地ノ經濟力、富力等ヲ考ヘマシテ、先ヅ必要以上ノ數ハ減ラヌヤウニ仕向ケテ行クト云フコトニ考ヘテ居ル譯デアリマス、併シナガラ之ガ或程度田舎ノ方ニナリマシテ、相當ノ郡部等ヲ中心ニ致シ、サウシテソレガ丁度會社ノ規模ヤ、色々又會員ノ數等カラ見マシテ適當ノモノデアリマスレバ、ソレハ其ノ儘存置サセルト云フコトガ適當デアラウト云フ風ニ、政府トシテハ考ヘテ居ル次第デアリマス、從ヒマシテ只今御質問ノ通り、唯單ニ合併ノ數ヲ多クスルト云ツタヤウナ意味デアリマセヌデ、其ノ土地々々ノ實情ニ適シタヤウニ無盡會社ノ合併ヲ行ッテ行キタイ、斯フ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○三井清一郎君 本日此ノ案ヲ受取タダケデ、研究ガ甚ダ不十分デアリマスガ、大體今御話ヲ承ッタ處デハ適當ナ改正タラウト感ジマスガ、此ノ金融ニ付テノ根本方針ヲ承ッテ置キタイと思ヒマス、嘗テハ地方ニ自然ニ、或ハ蠶絲業ヲ目標トシ、漁業ヲ目標トシ、農工ヲ目標トシ發達シテ來タ銀行ガ、政府ノ一貫シタル方針ノ下ニ一縣一行主義ニ減ジラレテ、之ガ今日庶民金融ノ非常ナル不便ヲ來シテ居ル原因ヲ成シテ居ルト云フコトハ、爭ハレナイ事實デアリマス、我々ガ地方ニ行ッテ懇談會ナドニ臨ミマス、ナカノ政府ノ御考ニナルヤウニ、地方ノ一縣一行ノ銀行ガ、支店ヲ出張所ガアルカラ都合ヨク行キサウナモノダガ、一

一重役ノ決裁ヲ仰ガネバナラス爲ニ、非常ニ不便ノ感ジテ、僅カノ金ヲ融通スルト云フコトハ到底出來ナイ、私ハ無盡業ガ發達スルトカ、或ハ法的根據ノナイ頼母子講ガ、今日ノ社會狀態デ三十億モアルト豫想サレルヤウナ程度ニ至ルト云フコトハ、政府ノ金融機關ノ根本的ノ建直シト云フ方ニ御進ミニナル意嚮デアルノカ、或ハ庶民金融トシテ斯ウ云フ自然ニ傳統的ニ出來テ居ルモノハ、保護シテ行クト云フ方針デアリマス、根本ノ一ツ主義カラ方針ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 只今三井委員ノ御質問デゴザイマスルガ、只今銀行ニ付キマシテハ、一縣一行主義ヲヤツテ居ルダラウト云フ御趣旨ノ御質問デゴザイマシタガ、是ハ先ヅ御斷リ申上ゲテ置キタイと思フノデアリマスガ、今日ノ普通銀行ハマダナカノ一縣一行トハ參リマセヌデ、マダ約三百ト云フ數ニナツテ居リマス、併シナガラ此ノ銀行ガ段々減ッテ行キマスノハ、必ズシモ政府ガ數ヲ減ラサウトシテ無理強ヒラスルト云フ結果デアリマセヌノデ、御承知ノヤウニ低金利政策ト云フモノガ段々滲透シテ參リマス、一方ニ於テハ銀行ノ經費ガ嵩ンデ行キマス、然ルニ貸付金利ハ安クシナケレバナラヌト云ツタヤウナ關係カラ致シマシテ、銀行ノ利轄ト云フモノガ非常ニ少クナル、然ルニ小資本ノ信用ノ少イ銀行ニ於キマシテハ、ドウシテモソレデハ收支ノ均衡ガ取レテ行カナイト云フコトニナリマシテ、ドウシテモ今日ノヤウナ時代ニナリマスルト、昔ノヤウニ一割トカ一割何分トカ金利ヲ取ツテ金ヲ貸シタ時代ト違ヒマシテ、預カル金利モ決メラレ、貸ス所ノ金利モ自然競争上低クセザルヲ得ナイト云フ時代ニ於キマシテハ、大キナ資本デ以テ大キナ預金ヲ扱ッテ行カナケレバナラナイ、ソレヲヤリマセヌト自然内容ガ惡クナルト云フコトカラ致シマシテ、今日ハ寧ロ政府ガ干涉スルト云フヨリモ、銀行業者自身ノ方デ、自發的ニ其ノ必要ヲ痛感スルト云フコトガ、寧ロ實情デアラウト思フノデアリマス、唯實際ニ合併致シマス際ニ於キマシテハ、色々具體的ナ面子ノ問題ト申シマスカ、サウ云ツタヤウナ問題ガ起リマシテ、簡單ニ理論通りニハ行カナイト云フヤウナ事情モアルト思フノデアリマス、サウ云ツタ譯デアリマシテ大體普通銀行ト致シマシテハ、地方銀行ノ數ハ今日ハ政府ガ特ニ強制力ト申シマスカ、サウ云ツタヤウナ強ヒルト云ツタヤウナ方策ヲ執リマセヌデモ、段々ト銀行業者自身ノ自覺ニ依ッテ併合ガ行ハレテ居ル、斯ウ申上ゲタ方ガ實情ニ適フカト思フノデアリマス、ソコデサウ云フコトニナリマスルト、今御話ガアリマシタヤウニ地方ニ於テハ銀行ノ店舗ガ足りナイ、從ッテ金融ノ疏通ヲ缺クト云フコトニナルノデハナイカ、斯ウ云フ譯デアリマスルガ、我が國ノ庶民金融ノ大體ノ建前ハ、御存ジノヤウニ産業組合ノ發達ト云フモノハ、明治三十年前後カラ致シマシテ段々ト滲透致シマシテ、今日全國ニ一萬何千ト云フモノガ發達致シテ居ルノデアリマス、ソレデ之ガ大體農村方面ニ於テ最モ能ク成績ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、唯都會地ニ於キマシテハ此ノ産業組合制度、所謂組合制度ニ依ル所ノ産業組合ト云フモノガ十分ナ目的ヲ果シ得ナイト云フノハ何故カト申シマスルト、ドウシテモ都會ニ居ル人ト云フモ

ノハ定住性ガナイ、オ隣同士ニ居ッテモオ互ノ信用ガ分ラヌ、ソレカラ又何時ノ間ニ居ナクナルカ分ラヌト云ツタヤウナコトガアリマシテ、ドウモ産業組合制度ト云フモノガ實效ヲ擧ゲナイノデアリマス、從ヒマシテ市街地ニ於テハ、産業組合ハ庶民金融機關トシテハ十分ナル成績ヲ擧ゲナカッタト云フ結果ニナツタノデアリマスルガ、之ヲ補ヒマス爲ニ、最近我が國ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ商業組合、工業組合ト云フヤウナモノガ段々ト發達シテ參ッタノデアリマス、即チ同ジ職業ノ者、利害ヲ同ジウスル職業ノ者ガ集ッテ、サウシテ其ノ職業ヲ通ジテ資金ノ融通ヲ受ケ、信用ヲ與ヘラレルト云フ方面ニ行クヤウニナツテ來タノデアリマス、此ノ商業組合、工業組合ノ發達ハ比較的歴史ガ新シイノデアリマシテ、今日ハマダ産業組合ノ如ク、猛烈ナト申シマスカ、非常ナ勢デ以テ發達ハ致シテ居リマセステレドモ、年々成績ヲ擧ゲテ又擴張サレテ居ルノデアリマス、此ノ産業組合、商業組合、工業組合、是等ノ組合ガ即チ今日我が國ニ於ケル庶民金融ノ先ヅ根幹ノ存在デアルト申シテ宜イカト思フノデアリマス、併シナガラ是デモ尙庶民金融ノ組織トシテ間隙ガアルト申シマスカ、サウ云ツタヤウナ意味合ニ於キマシテ、御存ジノヤウニ庶民金庫ト云フモノガ茲ニ數年前ニ設立サレタノデアリマス、ソレハ申ス迄モナイコトデアリマスルガ、極メテ信用ヲ得難イ、信用ヲ受ケ難イヤウナ下級ノ人々ニ對シマシテ、國ガ其ノ殆ド物的擔保ナシニ信用ヲ與ヘヨウト云フ一ツノ組織デアリマシテ、此ノ庶民金庫ノ組織ト云フモノモ、大體ニ於キマシテ先ヅ諸外國ニ於テモ餘リ例ノ少イ一ツノ新シイ組織

デアルト申シテ宜イカト思フノデアリマス、尙ソレニ附加ヘマシテ恩給金庫ト云フモノガ出來マシテ、是等ノ機關ニ依ッテ産業組合、商業組合、工業組合ニ依ッテ滿サレナイ分ヲ滿ス、斯ウ云ツタヤウナ體制デ以テ、先ヅ我が國庶民金融ト云フモノハ今後ニ於テハ段々、何ト申シマスカ、其ノ國民ノ要望ヲ滿シテ行クヤウニナルノデハアルマイカト思フノデアリマス、サウシテ一方ニ於テハ、從來金融機關ト申シマス普通銀行ノミデアルト云フ風ニ考ヘラレテ居タ普通銀行ハ數ガ少クナリマシテ、サウシテソレデ比較的大キナ不動産金融、商業金融ト云フ方面ニ役割ヲ持チマシテ、サウシテ今申上デマシタ各種ノ庶民金融機關ガ、其ノモウ一ツ下ノ方面ノ金融ヲ受持ツト云フコトデ、我が國ノ金融組織ト云フモノガ成立ッテ行クト云フヤウニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○三井清一郎君 大體了解シマシタノデアリマスガ、一言或ハ銀行ノ更新ハ行ハレテ居ルカモ知レマセスガ、餘程前デアリマスガ、渡邊銀行ノ破綻カラ、大藏省ノ銀行監督ガ議會等ニ叫バレテ、漸次此ノ監督ガ嚴重ニナツテ行ッテ、百萬圓以下ノ銀行ハ合併セヨト云フ、是ハ強制的ニナツテ、漸次合併シテ來テ、ソレカラ後議會等デハ一時更新ノ答辯ヲ聞イテ居ルケレドモ、併シ事實ハサウ迅速ニ行カナイノデ、自然ソレニ改良セラレテ行クト云フコトハ結構ナコトデアルト思フノデアリマス、唯私ハ庶民金融カラ考ヘマシテ、現在出來テ居ル庶民金庫或ハ産業組合中央金庫、或ハ商工金庫、色々ノ金融機關ガ出來テ居リマスルガ、斯ウ云フ所ノ金融ハ、庶民金庫ハ別ト致シマシテ、ナカ／＼嚴重ナ規定デ貸付ヲシマスカラ、容易ニ借リラレス、サウ云フヤウナ所カラ自然賴母子講トカ或ハ無盡ト云フモノガ、今日ノ時代ニナツテ來レバサウ云フモノハ減ッテ來ナケレバナラヌ次第ダト思ヒマスガ、寧ロサウ云フモノガ發達シテ來ルノデハナイカ、國家ノ金融統制ノ一貫シタ政策カラ考ヘマシレバ、サウ云フヤウナ私的金融ニ近イモノ、或ハ法律ガ認メテ居ッテモ其ノ活動ノ範圍ノ狭イモノ、斯ウ云フモノハ漸次減ジテ行ッテ、所謂活動ノ範圍ガ廣イ、銀行ナラ銀行法ニ基イタ、一貫シタ金融機關デ進ンダラドウカト思ヒマス、殊ニ時局ノ關係カラ金融統制ニナツテ、先刻御話ノ賴母子講ガ三十億アルカ五十億アルカ、殆ド整理ガ付カヌモノデアルト思ヒマス、又ソレニ類似シタ各工業會社、或ハ各官廳デモ色々ノ法人的ナモノガ出來テ居ッテ、色々ノ方面デ金融ヲヤル、日本デハ官吏銀行ナント云フモノハアリマセスガ、併シ事實ハ官吏銀行ニ似寄ツタコトガ各、各部局デヤッテ居ルヤウナ形ヲナシテ居ルト云フコトカラ考ヘマシテ、是ハ寧ロ政府ガ一貫シタ一ツノ銀行制度ナラ銀行制度デ進ンデ行ッタラドウカト云フ感ジガシマス、コ、ノ所ヲ一ツ……

○政府委員(廣瀬豐作君) 賴母子講ニ付キマシテハ、先程銀行局長ヨリ申シマシタ數字デゴザイマスガ、ソレハ契約高デアリマシテ、現實是ダケノ金ヲ扱ッテ居ルト云フ意味デアリマセヌデ、例ヘバ私共ガ千圓ノ無盡ニ入ルト云フ契約ヲ致シマシテモ、現實毎月拂フノハ二圓トカ三圓トカ、モウ少シ多イ十圓前後カモ知レマセスガ、サウ云ツタヤウナコトデアリマシテ、サウシマス

ノハ定住性ガナイ、オ隣同士ニ居ッテモオ互ノ信用ガ分ラヌ、ソレカラ又何時ノ間ニ居ナクナルカ分ラヌト云ツタヤウナコトガアリマシテ、ドウモ産業組合制度ト云フモノガ實效ヲ擧ゲナイノデアリマス、從ヒマシテ市街地ニ於テハ、産業組合ハ庶民金融機關トシテハ十分ナル成績ヲ擧ゲナカッタト云フ結果ニナツタノデアリマスルガ、之ヲ補ヒマス爲ニ、最近我が國ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ商業組合、工業組合ト云フヤウナモノガ段々ト發達シテ參ッタノデアリマス、即チ同ジ職業ノ者、利害ヲ同ジウスル職業ノ者ガ集ッテ、サウシテ其ノ職業ヲ通ジテ資金ノ融通ヲ受ケ、信用ヲ與ヘラレルト云フ方面ニ行クヤウニナツテ來タノデアリマス、此ノ商業組合、工業組合ノ發達ハ比較的歴史ガ新シイノデアリマシテ、今日ハマダ産業組合ノ如ク、猛烈ナト申シマスカ、非常ナ勢デ以テ發達ハ致シテ居リマセステレドモ、年々成績ヲ擧ゲテ又擴張サレテ居ルノデアリマス、此ノ産業組合、商業組合、工業組合、是等ノ組合ガ即チ今日我が國ニ於ケル庶民金融ノ先ヅ根幹ノ存在デアルト申シテ宜イカト思フノデアリマス、併シナガラ是デモ尙庶民金融ノ組織トシテ間隙ガアルト申シマスカ、サウ云ツタヤウナ意味合ニ於キマシテ、御存ジノヤウニ庶民金庫ト云フモノガ茲ニ數年前ニ設立サレタノデアリマス、ソレハ申ス迄モナイコトデアリマスルガ、極メテ信用ヲ得難イ、信用ヲ受ケ難イヤウナ下級ノ人々ニ對シマシテ、國ガ其ノ殆ド物的擔保ナシニ信用ヲ與ヘヨウト云フ一ツノ組織デアリマシテ、此ノ庶民金庫ノ組織ト云フモノモ、大體ニ於キマシテ先ヅ諸外國ニ於テモ餘リ例ノ少イ一ツノ新シイ組織

デアルト申シテ宜イカト思フノデアリマス、尙ソレニ附加ヘマシテ恩給金庫ト云フモノガ出來マシテ、是等ノ機關ニ依ッテ産業組合、商業組合、工業組合ニ依ッテ滿サレナイ分ヲ滿ス、斯ウ云ツタヤウナ體制デ以テ、先ヅ我が國庶民金融ト云フモノハ今後ニ於テハ段々、何ト申シマスカ、其ノ國民ノ要望ヲ滿シテ行クヤウニナルノデハアルマイカト思フノデアリマス、サウシテ一方ニ於テハ、從來金融機關ト申シマス普通銀行ノミデアルト云フ風ニ考ヘラレテ居タ普通銀行ハ數ガ少クナリマシテ、サウシテソレデ比較的大キナ不動産金融、商業金融ト云フ方面ニ役割ヲ持チマシテ、サウシテ今申上デマシタ各種ノ庶民金融機關ガ、其ノモウ一ツ下ノ方面ノ金融ヲ受持ツト云フコトデ、我が國ノ金融組織ト云フモノガ成立ッテ行クト云フヤウニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○三井清一郎君 大體了解シマシタノデアリマスガ、一言或ハ銀行ノ更新ハ行ハレテ居ルカモ知レマセスガ、餘程前デアリマスガ、渡邊銀行ノ破綻カラ、大藏省ノ銀行監督ガ議會等ニ叫バレテ、漸次此ノ監督ガ嚴重ニナツテ行ッテ、百萬圓以下ノ銀行ハ合併セヨト云フ、是ハ強制的ニナツテ、漸次合併シテ來テ、ソレカラ後議會等デハ一時更新ノ答辯ヲ聞イテ居ルケレドモ、併シ事實ハサウ迅速ニ行カナイノデ、自然ソレニ改良セラレテ行クト云フコトハ結構ナコトデアルト思フノデアリマス、唯私ハ庶民金融カラ考ヘマシテ、現在出來テ居ル庶民金庫或ハ産業組合中央金庫、或ハ商工金庫、色々ノ金融機關ガ出來テ居リマスルガ、斯ウ云フ所ノ金融ハ、庶民金庫ハ別ト致シマシテ、ナカ／＼嚴重ナ規定デ貸付ヲシマスカラ、容易ニ借リラレス、サウ云フヤウナ所カラ自然賴母子講トカ或ハ無盡ト云フモノガ、今日ノ時代ニナツテ來レバサウ云フモノハ減ッテ來ナケレバナラヌ次第ダト思ヒマスガ、寧ロサウ云フモノガ發達シテ來ルノデハナイカ、國家ノ金融統制ノ一貫シタ政策カラ考ヘマシレバ、サウ云フヤウナ私的金融ニ近イモノ、或ハ法律ガ認メテ居ッテモ其ノ活動ノ範圍ノ狭イモノ、斯ウ云フモノハ漸次減ジテ行ッテ、所謂活動ノ範圍ガ廣イ、銀行ナラ銀行法ニ基イタ、一貫シタ金融機關デ進ンダラドウカト思ヒマス、殊ニ時局ノ關係カラ金融統制ニナツテ、先刻御話ノ賴母子講ガ三十億アルカ五十億アルカ、殆ド整理ガ付カヌモノデアルト思ヒマス、又ソレニ類似シタ各工業會社、或ハ各官廳デモ色々ノ法人的ナモノガ出來テ居ッテ、色々ノ方面デ金融ヲヤル、日本デハ官吏銀行ナント云フモノハアリマセスガ、併シ事實ハ官吏銀行ニ似寄ツタコトガ各、各部局デヤッテ居ルヤウナ形ヲナシテ居ルト云フコトカラ考ヘマシテ、是ハ寧ロ政府ガ一貫シタ一ツノ銀行制度ナラ銀行制度デ進ンデ行ッタラドウカト云フ感ジガシマス、コ、ノ所ヲ一ツ……

○政府委員(廣瀬豐作君) 賴母子講ニ付キマシテハ、先程銀行局長ヨリ申シマシタ數字デゴザイマスガ、ソレハ契約高デアリマシテ、現實是ダケノ金ヲ扱ッテ居ルト云フ意味デアリマセヌデ、例ヘバ私共ガ千圓ノ無盡ニ入ルト云フ契約ヲ致シマシテモ、現實毎月拂フノハ二圓トカ三圓トカ、モウ少シ多イ十圓前後カモ知レマセスガ、サウ云ツタヤウナコトデアリマシテ、サウシマス

私ガ一人入リマスルト、毎月十圓位拂フノダケレドモ、モウ千圓ガ一ツ出來タ、ソレヲ集計スルト、五十人集マレバ五萬圓、五萬圓ノ無盡ガ出來タト、斯ウ云フ譯デアリマシテ、現實ニ何十億ト云フ賴母子ガ私的金融トシテ我が國ニ存在シテ居ルト申シマシテモ、ソレダケノ金ヲ扱ッテ、現金ヲソレダケ扱ッテ居ル人ガアルト云フ意味デナイト云フコトハ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソコデ賴母子講ノ問題デアリマスガ、是ハモウ申上ゲル迄モナイコトデアリマスルケレドモ、我が國ニ於テ賴母子講ノ出來マシタノハ、色々考證家ニ依ッテ說ハ違ヒマセウケレドモ、兎ニ角鎌倉時代、或ハ足利時代カラ行ハレタト申サレテ居ルノデアリマシテ、而モソレガ神社佛閣ヲ中心トシテ行ハレ、ソレカラ爾來數百年ト云フモノハ、我が國民ノ民情ニ合ッタト申シマスカ、兎ニ角我が國民ガ非常ニ馴染ンデ來タ行キ方デアアル、デアリマスルカラ現在之ガ行ハレテ居ルト云フコトハ、弊害ナク行ハレ、バ或意味ニ於テハ非常ニ良イ、所謂隣保相助ト申シマスカ、隣保相助的ナ金融組織デアリマスノデ、外國ニ於テ發達シマシタ銀行組織ト云フモノヨリモ、庶民金融的ナ見地カラ致シマスレバ、私ハ賴母子講ノ如キモノハ、是ハ弊害ナク行ハレ、バ非常ニ良イモノダト思ッテ居リマス、デアリマスルカラシテ、之ヲ健全ニ發達サセルト云フコトガ必要ナコトデアリマス、今日各府縣ニ於テ賴母子講ノ議會取締規則ト云フモノヲ出シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ此ノ議會取締規則ニ依ッテ十分ニ取締サヘヤレバ、私ハ或程度殘シテ置イテモ宜イモノヂヤナイカ、斯ウ云フ風ニ實

ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ頼母子講ノ存在ト云フコトハ、私ハ之ヲ健全ニ導キサヘズレバ、我が國ノ庶民金融ノ爲ニハ必ズシモ不利益ナ存在デハナイト云フ風ニ考ヘマスノデ、今後ハ之ヲ十分取締ツテ、邪道ニ陥ラシメナイヤウニ導イテ行クト云フコトニ致シマシテ、サウシテ一方ニ於キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、信用組合等ノ發達ヲ更ニ促ス、信用組合ガ我が國ニ於テハ、マダ何ト申シマシテモ三十四年ノ歴史デアリマスノデ、我が國ノ國民ニ十分ニ馴染ミマセスノデ、ソコニ頼母子講ガ尙我が國ニ相當、存在スル理由ガアルノグラウト思ヒマス、ソレデ頼母子講ガ健全ニ發達シ、信用組合ガ段々ト我が國情、民情ニ副フヤウニナツテ參リマスレバ、私ハ將來ニ於テ我が國ノ庶民金融ト云フモノガ、完全ナ域ニ到達スルノデハナカラウカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○三井清一郎君 能ク分リマシタ、時間ノ關係モアリマスカラ、私ハ今日ハ是デ終リマス

○委員長(侯爵池田宣政君) 外ニ御質問ハアリマセヌデスカ、今日ハ此ノ程度ニ致シマシテ散會致シマス

午後五時二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵池田 宣政君
副委員長 子爵牧野 康熙君
委員

男爵東久世秀雄君
入江 貫一君
三井清一郎君

男爵關 義壽君
古莊健次郎君

政府委員
大藏次官 廣瀨 豐作君
大藏省銀行局長 相田 岩夫君
大藏書記官 坂口 芳久君

昭和十六年二月十四日印刷

昭和十六年二月十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局